

週報



継続と改革

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南
 住所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 黒岩久登

水と衛生月間

第 3369 回例会	No.32	2024. 03. 13	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12 時 30 分 「日も風も星も」		
四 つ の テ ス ト	小玉 淳 君		
ビ ジ タ ー	中川彰伸君 (宮崎東 RC)		
例 会 行 事	PETS 報告		

会長時間

戦後最悪の自然災害となった東日本大震災は今週11日で発生13年を迎えました。

関連死を含む死者・行方不明者は2万2222人。避難者は現在でも3万人弱、帰宅困難区域は310平方キロ残ります。発生は2011年3月11日午後2時46分で、三陸沖を震源とする国内観測史上最大となるマグニチュード9.0を観測し、巨大津波が沿岸部を襲った。

警察庁によると、3月1日現在、死者は1万5900人、行方不明者は2520人。復興庁の集計では、23年12月末現在、避難生活中に亡くなるなどした震災関連死は3802人。また厚生労働省によると、震災に関連した自殺者は1月末現在で252人に上る。その震災で家族を亡くしながら懸命に生きる記者の手記を今日は紹介させていただきます。

伝統芸能が盛んで豊かな海に囲まれた美しい町は壊滅した。宮城県石巻市雄勝町。小学6年だった私も母を津波で亡くした。記者になった今、会いたい人がいる。大切な家族を失っても強く生きることを教えてくれた中学校の校長先生。生きていくのは、つらいことばかりではない。そう思える希望をくれた人だ。

13年前のあの日、雄勝の小学校で授業を受けていた。地鳴りとともにピーカーの割れる音が響く理科室。机の下に潜って同級生と互いの無事を確かめ合った。揺れが収まり、校庭に出た。学校は海岸から300メートルほどしか離れていない。「津波くっから、早く上さ逃げろ」。住民の叫び声が聞こえ、みんなで高台を目指した。坂を駆け上がりながら振り返ると、校舎より高い位置に船が見えた。私と小学3年の弟は高台で、祖父母、中学1年の姉と合流した。トラックの荷台などに分乗して隣の地区の集会所に向かった。家族7人が暮らした自宅は全壊した。数十分おきに襲う余震におびえ、両親がいない不安を抱えるうち、空はいつの間にか白んでいた。

翌日、私たち兄弟3人は、祖父に集会所の外に呼ばれた。「ママな、ダメだったんだ」。3人で泣きながら「大丈夫だったんじゃないの?」とぶつけた。祖父はただ、首を横に振るだけだった。2011年4月、雄勝中学校に進んだ。校舎は津波で流され、内陸部の高校を間借りしていた。校長の佐藤淳一さん(63)は8日間避難所を回って生徒全員の無事を確認し、校内に掲示した。すると、雄勝の住民から多くの拍手が起こった。

「子供は雄勝にとっての光だ」と実感した。13日遅れの4月下旬の入学式。晴れ舞台に、新入生全員が普段着で臨んだ。校長先生と向かい合い、新入生の誓いの言葉を述べたのは私だった。「母が亡くなってしまったのを知ったときは、涙が止まりませんでした。しかし、母が望んでいるのは泣いて生きるのではなく、家族や仲間とともに強く生きていくことだと思った時、3年間を一生懸命頑張らなければならないと思い始めました。母は心の中でいつまでも生き続け、励まし支えてくれています」。

今年1月下旬、仙台市で「校長先生」と再会した。「大輔としっかり話したいと思っていたんだよ」と笑顔で迎えてくれた。当時、私の言葉を聞いて校長先生自身も誓ったのだという。「母親との死別、そして決意を話す姿を見て、この子たちのためなんだってやろうってね」。校長先生の口から初めてそう聞いた。

避難所の体育館で約3カ月間過ごし、仮設住宅に移った。部屋は狭く、ストレスをため込んだ私は祖母に対

し、毎日のようにささいなことで強く当たった。そんな頃。「たくましく生きよ」との校訓を掲げた校長先生の発案で始まったのが、「雄勝中復興和太鼓」だった。廃タイヤにビニールテープを張った太鼓を手づくりした。雄勝に伝わる「伊達の黒船太鼓」の演目を力いっぱいたたき、支援への感謝を伝える。全校生徒51人で取り組んだ。手にマメを作り、夏には汗だくに、冬には白い息を吐きながら、練習した。次第に息がぴったり合うようになり、東京や海外でも演奏の機会に恵まれた。母もきっと近くで見ている。そう思えるようになり、心のとげが抜けていくようだった。

石巻市南浜地区の実家で両親を亡くした高橋匡美さん(58)は「命のかたりべ」として300回近く語り部活動を行ってきた。1月中旬、高橋さんと、震災の遺族らと交流する関西学院大教授の金菱清さん(48)が主催する「疑似喪失体験プログラム」に参加した。高橋さんは震災後、両親を失った苦しさを一人で抱え込んでいた。だが、「同じ境遇の人に勇気を与えられる」と誘われて、震災から3年後に初めて人前で体験を語った。「誰かに必要とされて、うれしかった」高橋さんの語りは、両親との想いで始まり、震災当日の話、両親との別れへと進んでいく。それに合わせ、20人ほどの参加者が疑似体験で、たいせつな「もの」や「ひと」を書いた12枚のカードを一枚一枚ちぎって「お別れ」をしていく。あれは震災2日後のことだった。私たち兄弟3人は祖父母に連れられ、車と船を乗り継いで雄勝に入った。すべてが泥で茶色に染まっていた。対面した母の頬は冷たかった。眠っているようだった。姉と弟がむせび泣く横で、私はただ黙ってただ立ち尽くした。「ここで泣いたらおかあは天国にはいけない」。そんな気がした。

母は事務職員として働く病院で患者の避難誘導をしていた。最後は津波にのまれながら、私と姉、弟の名前を呼んでいたという。後日、母と一緒にいた看護師から祖母が聞いた話だ。疑似喪失体験プログラムの静かな会場で、参加者のすすり泣く声が聞こえてくる。私が最後に残した1枚は「父」だった。「最後の別れを教えてください」。金菱さんが呼びかける。公務員の父(55)は職場で津波にのまれ足をけがしながらも生還し、私たち兄弟3人と2週間後に再開した。父は3人のことを第一に考え、厳しく、そして優しく育ててくれた。そんな父とお別れ。鼓動が早まった。破く手は震え、何度も止まった。「つらいことを乗り越えよう」としたり、我慢して苦しんだりしないでいい。

プログラムの最後、高橋さんの言葉に救われた。「たくましく生きよ」そう書かれた小さなカードを私は財布にいれて持ち歩いている。4年前、社会人になる私に校長先生がくれたものだ。再会した校長先生にそれを伝えると、「聞いただけで涙が出る。少しでも支えになればうれしいね」と顔をほころぼせた。これからもずっと、私の胸に残り続ける言葉だ。

例会行事

PETS (Presidents-Elect Training Seminar) 報告 築瀬 敦エレクト

1日目

鹿児島県のホテル京セラにて開催。9:00より受付開始。10:00に笹山ガバナーエレクトの点鐘で第一本会議が開会。池ノ上ガバナーのあいさつの後、次年度RIテーマ、および地区方針について笹山ガバナーエレクトより発表。2024国際協議会報告があった。

2024-25年度は、ステファニーA. アーチックRI会長エレクトの下で活動していく。テーマは「**The Majic of Rotary**」 「ロータリーのマジック」です。

このテーマは、アーチック会長エレクトが数年前に経験されたことが基となっている。国際会議の講演でその逸話を話した。「ドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝っていました。浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。その水の流れを最初に止めた時のことを、私(アーチックエレクト)は決して忘れません。少年の一人が私の袖をつかんで、「もう一度魔法を見せて」と言ったのです。もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、受益者の方々と協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということ、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです。このため、2024-25のRIのテーマは「**ロータリーのマジック**」です。と講演の中で言われた。

そして笹山ガバナーエレクトの地区スローガンは

「**ロータリーのマジックで ロータリーを楽しもう**」 です。

笹山ガバナーエレクトは2024-25年度ステファニーA. アーチックRI:会長のテーマ「ロータリーのマジック THE MAGIC OF ROTARY」の具現に向けて当地区としては、「世界でよいことをしよう! DOING GOOD IN THE WORLD!」と「地域でよいことをしよう! DOING GOOD IN OUR DISTRICT!」を掲げて活動し、「ロータリーを楽しもう! ENJOY ROTARY LIFE!」を実践していく。



DEIの理解を進め、帰属意識を深め、クラブの文化を醸成し、会員が積極的に活動することで、世界で・地域社会で存在感のあるクラブ・地区となり、平和の実現に寄与できるよう活動していきたいと言われた。

2024-25年度の基本方針と重点事項6つ挙げた

1: 会員基盤の維持と会員増強

- 会員数20人未満のクラブ ⇒ 会員1人の純増
- 会員21人～50人のクラブ ⇒ 会員1～ 2人の純増
- 会員51人以上のクラブ ⇒ 会員2～ 3人の純増

2: クラブの文化を醸成支援

3: 奉仕活動への支援

4: 公共イメージの向上

公共イメージを向上させるための5つのステップを踏む中で、ブランドリソースセンターのツールとテンプレートを使用して、情報を発信する。世界を変える行動人として会員を紹介し、もたらされる変化について広く知ってもらう。

特にこれは1番の重点項目に思えた。

5: ロータリー財団への理解と実践

年次基金、ポリオプラス基金の「0クラブ」を無くそう! ポール・Aリスソサエティ(PhS)に加入しよう!

6: 米山記念奨学会への協力

普通寄付5,000円/1人、特別寄付10,000円/1人

多くの奨学生希望者がおり、希望に応じられていません。ご寄付をお願いします

笹山ガバナーエレクトより、参加の会長エレクトにネクタイとピンバッジ2つがプレゼントされた。2024-25年度のRIのバッジと笹山年度のもの。鹿児島に加治木RCの笹山ガバナーエレクトなので伝統のクモ合戦がデザインされているが、クモが苦手なのであまりつけたくないと思った。

その後、地区戦略計画について、次期地区戦略委員長の押川PGが第2730地区では、2020～ 21年度(風呂井ガバナー年度)より、「地区ビジョン」「地区行動計画」を定め、これに基づき5カ年にわたる具体的地区数値目標を掲げ実現を目指してきました。2024～ 25年度(笹山ガバナー年度)がその最終年度5年目にあたります。クラブの現状を把握し、どのようなクラブを目指すのか目標を立て、1年を通して進捗状況を把握し、目標を達成できるよう取り組んでくださいということだった。

次期地区ラーニングファシリテーターの風呂井PGがロータリーの目的について研修を行った。そして、内容は割愛するが、「ゼロ容認方針について」「DEIについて」「次期地区組織と運営について」各担当より説明があった。昼食休憩をはさみ13:00より「ロータリー財団について」「分科会について」「報告があり点鐘にて第一本会議が終了した。

余談だが、先ほど聞きなれない呼称があった、ファシリテーター。調べると会議等で、中立的な立場に立ったうえで発言をまとめ、良い結論に導く役割を担う人とある。今までの研修委員会は「ラーニングファシリテーター」となるようだ。

その後、部屋を移動しいよいよ分科会が始まる。分科会はテーマが決まっており、8つのテーマについてディスカッションを行った。4, 5人で1テーブル。15テーブルに分かれて始まった。

テーマについてファシリテーターの説明が5分程度。20～30分程度エレクト同士でディスカッションし、15分程度の発表(4, 5テーブルからひとりづつ)、最後に自分の考えを5分程度でまとめるというものだった。

第一セッション 3年間の計画を立てる

研修題目 ロータリーの行動計画に沿ったクラブの3年間の目標計画を立てる

ファシリテーター 田島 幹洋

3年間かけて焦点を当てたいクラブの強み、弱みはなにか。

強みは、会員同士の繋がりが良い。先輩方が厳しい意見をしてくれる

弱み例会参加が厳しい会員がいる。会員増強がなかなかうまくいかない。

3年間の計画を立てる参考に他クラブの現状を聞く。

理事会を夜開催し、理事以外にも参加を認め参加した場合メイクアップ扱いにしている。

例会以外の日に曜日を決めて昼食会を開催する。内容はロータリーについての勉強会。例会ではないが、出席者はメイクアップ扱い。

計画としては会員増強がやはり重要。そのために、女性会員に4会員増強委員会の委員長をお願いし女性会員

の入会に対するハードルを下げ増加につなげる。

第2セッション 会合を運営する

研修題目 会員の積極的参加を促す例会や会合のアイデアを話し合う

ファシリテーター 穎川 正伸

加治木 RCのエレクトは2019入会。先輩たちからは仕事優先でいいと言われているので例会出席のプレッシャーがないのいい。それが逆に来やすい雰囲気になっているのでは。

宮崎南は、会員数は増えたが出席率が下がった。分母が増えたのである意味しょうがないのか。若手中心の交流会を開催している。

ディスカッションで楽しい例会でいいのか？と意見が出たがやはりその方がいいのではとなった。楽しいばかりではもちろんだめだが。では例会に参加してもらうその方法は？あるクラブは食事に、年間の行事を取り込んでいた。例えば、2月に恵方巻、土用の丑の日にウナギとか季節や行事に合わせていた。夜間例会で、席をくじで決める。自由に席をとると若い人（RC歴の短い会員）とベテランの方が一緒に席につくことがあまりない。

たくさんクラブが職場訪問を実施するが、会員外の職場訪問をしているところもある。

第3セッション リーダーとなるための準備

研修題目 クラブリーダーとしての役割を果たすために必要なスキルを理解する

ファシリテーター 戸高 勝利

3つのシナリオが準備してありました。

※シナリオ1（理事会内での意見の相違）：山田さんは、会長としての就任を3カ月後に控えており、会員のクラブ活動への参加を促すために、会員の関心について調べるアンケート調査を実施したいと考えています。しかし、理事会メンバーの二人がこれに反対しています。この二人を説得するには、どうしたらよいでしょうか。

※シナリオ2（役目を果たさない委員長）：任期の半ばにさしかかりましたが、あなたが期待した通りにロータリー財団委員長が役割を果たしていません。この委員長は理事会にも出席せず、委員会目標に向けた活動状況を一切報告していません。メールで連絡しても返信がなく、電話にも出ません。この場合、あなたはどうしますか。

※シナリオ3（親睦を楽しむだけの会員）：佐藤さんは例会への出席率もよく、親睦行事にも定期的に参加しています。法人会計士である佐藤さんが入会したとき、クラブは、その知識を生かして活躍してくれるだろうと期待していました。しかし、佐藤さんは役員や委員会の役割を進んで引き受けようとしません。自身のスキルを生かしてクラブにもっと貢献するよう、佐藤さんにどのように働きかけることができますか。

私のグループは、シナリオ1に取り組んだ。なぜ反対するのかを把握することから始める。どこに反対している？アンケートすること自体なのか、その内容なのか、その目的なのか。それからの対応としてディスカッションで出た意見は、反対が出ることは当然のことである。いろいろな考えがあつて当然。特に説得する必要はないのでは。という意見

反対の理由を明確にして説得を続ける。説得が大前提ではあるが、どうしても説得できない場合は会長のやりたいことであるので理事会の多数決でいいのでは。

第4セッション 会員の参加を促進する

研修題目 会員の参加を促すための方策を立てる

ファシリテーター 田島 直也

※シナリオ

東西ロータリークラブの会員数は39人です。このクラブでは、15人の会員が中心的なグループとなり、このグループが交代でリーダー職を務めています。この1年間、ほかのクラブ会員はあまり参加しておらず、退会者が始まっています。

次年度のクラブ会長は、多くの会員が例会を欠席していることに気付きました。クラブの記録を見ると、54人の会員がいた3年前から、毎年数が減っていることが分かります。このため、何か対策を立てなければならないと感じています。

例会に出席しない理由を聞く。来ないのか、来れないのか？事情を把握する。15人の中心的グループが疎外

感を与えているのではないか？退会者に理由を聞く。中心グループのメンバーの意見を聞く。中心グループメンバー以外の会員に役割を与える。

これで、ようやく1日目が終了。夜は、懇親会に出席。夜の街には出ず、部屋で忘れないうちに1日目のセッションをまとめる。

2日目

8：45に笹山ガバナーエレクトの挨拶で、始まる

第5セッション 入会の魅力を高める

研修題目 インクルーシブな環境を作るために、クラブが取り組むべき側面を特定する

インクルーシブとは：様々な背景を持つ人材を受け入れ、それぞれの個性を尊重し、能力を発揮できる環境を作ること。

多様性のあるクラブを作る。子育て世代の多いクラブでは、クラブのイベントや例会に出席できないことがあるため開催の曜日や時間を工夫する。そのために理事会のメンバーに女性を選んでいる。Zoomの活用や、子供の参加できるような例会を考えたい。

DEIについて、勉強する。

D : Diversity ダイバーシティ 多様性

E : Equity イクイティ 公平性

I : Inclusion インクルージョン 包括性・受容性

第6セッション クラブを運営する

研修題目 ロータリーのオンラインツールを利用して管理や手続きを行う方法を学ぶ

My Rotaryのアカウントを作る。My Rotaryの中にあるツールを利用して、ロータリーについて学ぶ。ラーニングセンターなどを活用。ブランドリソースセンターには、クラブ名入りのロゴや、名刺、キャンペーン広告、チラシ用のテンプレートがあるので活用する。My Rotaryに関しては、登録100%を目指す。

第7セッション ロータリー財団のための募金

研修題目 様々な参加者とともに寄付推進/募金のアイデアを検討する

当クラブと同じように、会費から出しているところもあれば、封筒を例会会場に準備し、個人にそれぞれ寄付してもらうところもある。スマイルと同じ感じ。

ロータリークラブ、ロータリー財団、米山奨学金は独立した組織である。米山奨学金は、日本独自のものなのでRIは認めていない。

第8セッション 公共イメージキャンペーンを企画する

研修題目 公共イメージキャンペーンを企画・運営する方法を理解する

ロータリーのブランド力を上げるために企画する。

Facebook、SNS、マスコミを利用する。そのためにも写真などのデータをストックしておく。

目立つのはロータリアンとしてどうなのか、ひっそりとやるのがいいのではと考える会員もいる。公共イメージが上がらない。

何かやるときにはマスコミに連絡し取材してもらう。奄美瀬戸内RCは障害者のヨットレースを開催している。去年は地区補助金を使いヨットを1艘送ったそうだ。かなりのイメージアップにつながった。

旬のものを取り上げて、事業を行うとマスコミが取り上げてくれる。宮崎中央RCは大谷翔平のクラブプレゼントを取り上げボールとバットを宮崎市内の小学校に送ったそうだ。

と、これですべてのセッションが終了。昼食をとって13：00より第2本会議が開催。ガバナーエレクトの点鐘で始まり、：次年度地区資金案について：会員増強について：ロータリーカードについて：ロータリーの友について：ロータリークラブ・セントラルについて：次年度ガバナー月信について：公式訪問の日程と要領について説明があった。そして、ガバナーノミニエ・デグジネートの紹介・挨拶のあと、井福PGの講評、池ノ上ガバナーの激励の言葉。そして、終了賞の授与、期待の言葉が笹山ガバナーエレクトからあった。壇上で2人に手渡すとあり、何故か私が呼ばれた。一番端っ子で出やすいところだったからだろうとおもう。

これにてすべてが終了。長い2日間が終わった。

PETSで地区からあるお願いがあった。My Rotaryの登録。登録100%を目指す。日南RCは、7名が登録している。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今 週	30	7 (3)	27	20	0	7	20	74.07%
出席免除	落丸、清水、渡邊							
先取MU								
欠 席	榎木田、甲斐、菊池、中山、花盛、日高、村社							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：黒岩久登 副会長：築瀬 敦 幹事：井野畑善順 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。